

資料87-5

科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
(第87回) R6.6.17



宇宙戦略基金、始動。

## 宇宙戦略基金事業の準備状況について

2024年6月17日

経営企画部 宇宙戦略基金準備室

## 宇宙戦略基金事業に係る準備状況について

- 4月26日公表の政府による基本方針・実施方針を踏まえ、7月以降の公募開始を目指し、社内にて、公募要領の策定、事業運営体制の構築など鋭意準備中。
- 5月20日、関係府省担当者等による事業説明動画を JAXA YouTubeにて公開したほか、宇宙戦略基金事業のティザーサイトを6月6日に公開済み、さらに、6月14日、公募予告（7月上旬に予定している5テーマを掲載済み）。

- PD（プログラムディレクター）に、一般社団法人SPACETIDE代表理事の石田真康氏が就任。ステアリングボードの座長として、各領域の取組状況・課題等の把握し、基金事業全体運営に係る管理、総合調整などを行う。

※なお、各領域の各技術開発課題の採択、評価等を行うPO（プログラムオフィサー）及び審査員は、現在、調整中。



PD（外部有識者1名）

**ステアリングボード**

（プログラム運営に係る総合調整）

座長：PD 委員：外部有識者により構成



PO（外部有識者複数名）

各領域（輸送・衛星・探査等）

**各審査会**

（各技術開発課題の採択、評価）



座長：PO 委員：外部有識者により構成

## Program Director [PD]

一般社団法人SPACETIDE 代表理事 兼 CEO

# 石田 真康

- 宇宙ビジネスの促進と産業エコシステム形成を目指す一般社団法人SPACETIDEの共同創業者兼代表理事兼CEO、20カ国・20業種のリーダーが集う国際宇宙ビジネスカンファレンスを主催するなど様々な業界横断活動を推進
- 経営コンサルティングファームA.T. Kearneyにおいて、20年に渡り、宇宙業界を含む多様な企業や政府機関の支援に携わる。内閣府宇宙政策委員会基本政策部会委員
- 著書に「宇宙ビジネス入門 Newspace革命の全貌」(日経BP社)、東京大学工学部卒

### Message

世界の宇宙業界は大変革の中にあり、これからの時代をリードしていくためには、産学官の多様なコミュニティが連携をしていくことが不可欠です。そうした中、宇宙戦略基金は民間企業や大学等の技術開発を加速する画期的なプログラムであり、その先の商業化と市場形成へとつながる極めて重要な取り組みであります。

また、今回の基金が、既に宇宙業界に携わっている方々の活動を加速するとともに、新しい組織や個人が参画する機会となることで、産業全体がより活性化することを期待します。基金全体の目標、基本方針、実施方針を踏まえ、多くの方々の知恵と情熱を結集し、プログラム全体の運営を行ってまいります。

## 宇宙戦略基金事業に係る準備状況について

- 7月1日、宇宙戦略基金事業部が発足予定。社内外の多様な人材を糾合し、本務だけで50名規模の人員を確保、加えて、輸送・衛星・探査等の各部門エンジニアを中心に部の併任者等（※）も配置。技術・ビジネスの両面から基金事業を運営、推進できる体制を構築し、JAXAの役割である公募・採択手続き、技術開発マネジメント等を着実に実施する。

※併任者の人数・エフォート率は、採択される技術開発課題によって決定されるが、現時点で併任者等は50名規模となる見込み。

- 技術開発テーマ・22テーマについて、7月以降、順次公募を開始する予定。（今後の準備状況により、時期や内容が変更となる可能性もある）

- 公募予告等の情報は、宇宙戦略基金事業ウェブサイト（右記QRコード <https://fund.jaxa.jp>）にて、随時、掲載予定。



### [公募予告]

公募時期	技術開発テーマ
2024年7月上旬	【5テーマ】 <ul style="list-style-type: none"><li>○宇宙輸送機の革新的な軽量・高性能化及びコスト低減技術 [文科省]</li><li>○商業衛星コンステレーション構築加速化 [経産省]</li><li>○月面の水資源探査技術（テラヘルツセンシング）の開発・実証 [総務省]</li><li>○月-地球間通信システム開発・実証（フィージビリティスタディ） [総務省]</li><li>○再生型燃料電池システム [文科省]</li></ul>